

## ■ 風だ! 雨だ!! 雪だ!!! ■

冬の関東は乾燥していて、雨や雪はあまり降らない……ハズがなぜかなくなるこの項目。それだけその冬に雨や雪が降った際のダメージは大きいのだ。

特に冬の雨や雪は濡れた服が極めて乾きにくいという問題を持っているだけに対応を誤ると悲惨の一言に尽きる。また、晴れたら晴れたで風が強い場合もあり、特に早朝からの待機を予定している場合には長時間冷たい風に晒されることになるので甘く見ずに風を防げるような対策を講じておく必要がある。

ハッキリ言って夏とは違い、冬の雨や雪に対抗するためには傘では全く不十分だ（そもそも行列など人が密集している場所で傘を使うのは周囲に対して非常に危険なので可能な限り控えよう）。レインコートなり、アウトドア用のジャケットやパーカーなりの何らかの防水性能を持ったアウターと靴、濡れても乾きやすいポリエステルやウール、フリースなどの衣服、（シーズンは雨の中で待機する可能性がある時は非常に具合が悪い）。さらに戦利品を守るためのきちんとした防水性能を持ったバッグは必携だ。

ピグナーにはなかなかこうして文章を読んでもその過酷さを実感することは難しいかもしれないが、**前夜、もしくは当日早朝の時点で雨ないし雪の場合、今回コミケットに初めて参加しようと考えているピグナー参加者は早朝からの参加はきっぱりあきらめるのが賢明だ。**

会場に正午過ぎに着くようにすれば、過酷な入場待機列に並ばずに入場することができるし、そもそも開場前の早朝から何時間も並んでも入場できる時間は2時間と変わらないのだから、最初は無理をしないことが肝心だ。そのためにも天気情報には注意を払っておこう。

日本国式  
天気記号

快晴 ○

晴れ ◐

曇り ◑

雨 ●

雷 ◑

曇

雪 ⊗

## ■■ 続・カート警報発令中!! ■■

現在コミケットの会場内でもっとも頻発しているトラブルは何だかご存知だろうか？

それは参加者が引くカートやキャリーバッグ、キャスター付きトランクなど（※）による衝突、ひっかけ、踏み通りといった事故なのだ。今回はこの問題について、少し総合的に考えてみたい。

※以下の文章中ではこれらを総称して『カート類』という言葉を使用しています。

## ■ カート問題とはそもそも何なのか? ■

最近特にこの問題が頻発するようになった背景には、これはこれまでは主にサークル参加者の搬入のための道具であったカート類が一般参加者の間でも広く使用されるようになってきたために、ただでさえ混み合っている開場後の人波の足元に多数のカート類が侵入してきているという状況がある。

どうしても荷物が大きくなるのはコミケットという場の宿命のようなものだが、その荷物をバッグに詰めて運ぼうとする人と、カートを使って運ぼうとする人では、いざ接触の際でも主に前者が一方向的にダメージをこうむるケースが大部分であるということがこのアクシデントをより剣呑なものにしているのだ。『みんな重くても自分の荷物は自分で持つようにしているのに、自分が楽をしたいためにカートを使って、あまつさえ他人にぶつけるなんて……』というわけだ。

残念ながらこの問題の根本的解決は困難だ。単純にカート類の持ち込みを禁止すれば済むというものでもない。なぜなら、誰でもどこでも遭遇する可能性が高いという点からカートの問題が目付きやすいというだけで、例えば【大きなバックバックを振りまいてぶつける】【人ごみの中を力ずくで直進してくる】【走らなでという注意を無視して走る】【開場前にサークルスペース内になければならないはずの人間が既に行列している】【禁止されているのに徹夜】などなど、要するにコミケットの基礎を触れている

**【自分だけ良ければ】という意識のひとつの顕れでしかないから**

つまり、カート使用者だけを槍玉に挙げて非難してみても、そのある全く同様の性質の問題からは目をそらしてしまっは本末転（だからといって、暴走カートが肯定されるわけではもちろんないので）。

もちろんカート類を使用している人の大部分は自分の使っているには重々注意を払っているだろう。中には注意して引いていたに

